



府 食 第 5 0 5 号

令 和 2 年 7 月 3 日

食品安全委員会委員長 佐藤 洋 殿

研究・調査企画会議

事前・中間評価部会 座長 山本 茂貴

令和2年度食品健康影響評価技術研究追加公募課題（案）について

このことについて、令和2年7月2日に開催した令和2年度研究・調査企画会議事前・中間評価部会（第2回）における審議の結果、別添のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

(別添)

令和 2 年度

食品健康影響評価技術研究追加公募課題（案）
について

令和 2 年 7 月

食品安全委員会 研究・調査企画会議
事前・中間評価部会

令和２年度食品健康影響評価技術研究の追加公募課題（案）

公募課題	概要
アレルギーを含む食品によるアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究	アレルギーを含む食品については、食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価として、アレルギーを含む食品に関するワーキンググループにおいて、食物アレルギー疾患を有する者に係る食品の安全の確保のため、アレルギーを含む食品に関する食品の表示等について、科学的な検証を行っている。 アレルギーを含む食品のリスク評価を検討するに当たり必要な科学的知見を得ることを目的として、 ① 食物経口負荷試験結果の収集 ② ①で得られた食物経口負荷試験結果を用いたアレルギー症状誘発確率の推計 を実施する。

（参考）

食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（令和２年度）
（令和元年８月２７日 食品安全委員会決定）（抜粋）

4 その他

（２）その他食品健康影響評価に関する研究・調査

上記に掲げる研究課題の他、食品安全委員会が必要かつ緊急性があると認める課題について研究・調査を実施する。